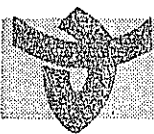


THE KOHO NANKOKU



南国時報

第 6 8 号

昭和40年8月25日

編集発行
南国市広報委員会

事務所
高知県南国市役所内
(電 2111)

印刷 川北印刷株式会社
(電 3151・有線155-11)



守ろう 文化財

放水銃できる

心のふる里である国分寺の消火設備はこのほどできあがり、同寺を災害から守ることになりました。しかし、その設備を使うことのないようにしたいものです。



思えば変わったものだ。昔はし尿問題なんて考えて政治を行なった者は一人もいなかっただろう。考える者があればどうして

大量に集め肥料に使おうと考えたものだろう。この問題が生じたのは百姓がいたためである。最近の百姓は自宅のし尿さえ肥料に使うのに苦労している。百姓のありがたさが今になって漸くわかったわけだ。今まで幾百年間もこの大問題を処理してきた百姓は、何と偉大な力を持っていることだろう。南国市も市となったためかどうか知らないが、し尿問題は先に伸ばせぬ大問題である。今や月にロケットが飛ぶ時代に、人間全部の人が、毎日毎日出しているし尿を完全によう処理しないなんてどう考えてもおかしな問題である。

しまつにおえぬし尿

市営の処理場を早く

いろいろ問題をかもした香長し尿処理場は、八月の始めから操業することになり、し尿処理のことについては一応終結し、無事平穏な姿になったように見受けられますが、その実困難な問題が投げかけられています。

それは市の中心地や、農村にある消費帯はもとより一部農家においても、便所にあふれるし尿に、なすすべもない状態にあるようです。川や、山への不法投棄もしばしば見掛けられるなど、根本的な処置を望む声が高く、しかもし尿処理場の単独設置の声も次第にきかれるこのごろです。

私たちの望む完全なし尿処理はどのようにあるべきか、話し合いをもつてみました。

いま市民が一番困っているし尿処理の現状はどうか

市長 市政を担当して三年半、その間五十五件、三億二千万円の事業費を投じていろいろの施設をすすめてきたが、もとより、

し尿処理の問題は重要な課題であり、議会にし尿処理調査建設委員会(小川良水委員長)を作くり、香長し尿処理組合への加入、単独設置の問題について調査研究をしている。

当初組合へ加入するつもりでいたが、下流地区民の反対もあり、脱退し現在に至っている。

緒にやれと県も強い意見であり、地区民としてもむやみに反対したのではなく、廃液の地下水への影響を考へてのことです。

し尿処理場そのものに反対したのでなく、設置の場所や、機種に対する反対であった。

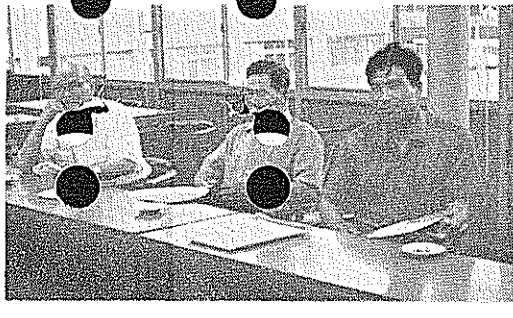
戸板局の下流には田村、物部、久枝の取り入れ口があり、その非水を利用して野菜や米、食器などを洗っている農家が多く、なかには飲料水にしている家庭もあるので反対した。深淵についてもやはり取り入れ口の汚染に危険を感じた。市の脱退後は行政が違うのでしかたがなかった。

しかし、何点かの要求が入れられていないものも満足していない、完全に操業されているか、否か

地区民は監視している。

久枝地区の反対した理由も全面的な反対ではなく、戸板局や深淵という場所についての反対であり、設置すべきものであるという基本線はもっていた。

し尿処理場がないので、し尿の処置については頭をなやませている。現在暫定的に地主の了解を得て山林に放棄している場所もあるが、多くは望めず、



その処理については業者の自主性にまかせているのが現状である。

家庭の主婦の立場から……

実際家庭では困っている。連絡してもなかなか業者は汲み取りをしてくれない。市も責任を持って指導管理してもらいたい。

主な道路から遠く入り込んでいるところや、衛生車の入らないところの家に住む人は移転したいともいっている。

高知にあるように小型の運搬車で路地の奥へ入るようにならないものか、……そうしなければ狭い市道では交通を一時と絶しなくてはならないし、汲み取りを一時やめて車を通さねばならないので仕事がスムーズにいかないのでは、どうしても業者が嫌う傾向にある。

また最近、住宅の建築がさかんであるが、便所の位置を考慮せずに建て、汲み取りのむつかしい建て方をしているものが多い。業者が汲み取りによる汲み取りをしているものがあれば問題はないが、パキニウム車ばかりであるから問題もあろう。

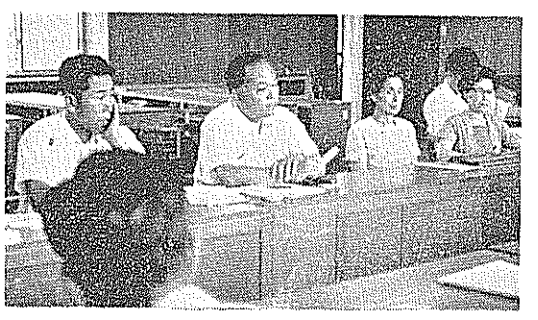
汲み取りにきてもホースが足りないとか、ホースをきりすぎていないからとか、いろいろ理由をつけて道からはなれたところのし尿は汲み取ってくれないことが多い。

米が足りないからといえは、米の節約はできてもし尿の排せつは節約はできない、市の方で指導するなりなんとかならないものか。

業者に市から補助をしていると聞いている、強い行政指導できないか。

汲み取り料金を次第に上がっているし、その都度まちまちな場合があるのはおかし。

課長 料金は石当りいくらということになっており、市では料金については直接タッチしていない。



香美郡の業者と同じ額になるだろう。

し尿の排せつ量は一定していないし、人数の変動などで一定

野放しにするな 市民の絶大な協力を……

の同じ期間でもその量は多少の差異はある。しかし、自宅の便所はこの線ではどれくらいの量であるかを知っていることが大切で、もし、その量が相当のちがいがあつたら、高い料金を請求されたときは市の保険衛生課へ連絡してもらいたい。

市内での衛生車の台数は

市長 三台ある。処理場が市にあるれば衛生車もふえるだろう。市外の業者から指定の申請があつているが、まだ指定はしていない。

業者に対する補助といつても業者が汲み取ったし尿の捨て場に困っているもので、その捨て場の造成のために三台の車に一車十万円を三年間貸している。汲み取りがうまくいらないので、川へしかも白屋堂々と捨てているものもある。なかには便所の底を抜きなかなかたまらないようにしているものもあるということがある。

このような野放し状態では、伝染病の危険にさらされているといえるし、その発生の懸念もある。

現在、投棄している場所にも相当の反対があるようにきいて

いる。

し尿を化学肥料にできるとい

うか

市長 みやこ肥料はし尿処理でできるオダイを原料としている、それも原料が多く必要であり、原料の面からみても全然話にはならない。企業としての採算はむつかしい。

みやこ肥料は、肥料の成分もよく効用の率も高い、しかし、値段が高いのが欠点だ。

し尿と糞芥をいっしょに処理し肥料にしようという処理方法もあり、市が処理場を作るとすれば、糞芥との併設についても研究する必要があるだろう。

住宅団地ができるようだが水洗便所はどうか

課長 現在市内での水洗便所は十一カ所ある。生活様式の変化とともに考えなければならぬことで、水洗便所となれば下水道のない現在には用は流しているようだが、下水道や、上水道を完備することが先決になるだろう。

現実困っているし尿をどのように処理するか

課長 一、まず香美郡のし尿処理場へ汲み取り入ってもらうよう申し入れてあり、その可能性はある。

市長 県の話もあり受け入れてくれると思う、受け込みの経

費が高いので交渉している。

それに香美郡の処理場は当初七万斗であったが、市の脱退により、五万斗の処理能力しかなく、糞芥は受け入れがむつかしいときがあるだろう。

機能が完全であればよいが、埤では七万斗の能力しかないのに、人口の増加により八万斗の処理をし、完全処理以前に放水しているものもある。

南国市がいまさら加入するのはいままでの経過からしてどうだろう。まして運転したすとわれもわれもというので香美郡の

方にふえて、しめ出しをくうのではないか。

課長 そういうことも場合によってはあり得るだろう、そのときにあわてないよういただちに正式加入は考えていない。

市としても十分研究をつむ必要がある。

市単独の処理場を誠意をもってやるべきだ

一般家庭で、し尿の処理に困っていることは切実に聞かされている。

議会でもこの問題を大きく取り上げ、その対策として特別委員会を作くり、再三三合を開いているが、現在のところ香美郡への加入よりも、市独自の施設を作ること基本線にもち努力している。しかし、その位置が問題となるので慎重に調査している。

市長 市が単独で作るとすれば六千万円の総工費となる。起債の二千万円、国、県の補助を除くと純市費二千万円は必要である。ものがもたれにその位置については十分意をつくつもりである。

わが身のクソはよいが、他人のクソは……という考えをもっているようではだめだ。お互が協力し、はやく処理場を作らなければならない。私の見たある市では、県管住宅もある住宅地のドマン中に処理場があり、盛んに操業しているが、全然臭気がなく、かえってその周辺は清掃がゆきとき、住民もなんら不安もつけない。

し尿処理場を作らなければならない人々になつてくるとしてもらうことである。そのためには道をよくするとか、大規模機具の購入とかみかえりも大切だ。そうすればかえって誘致したいというところまでできるだろう。ともかく地元の人たちとヒザを交えて、執行部が誠意をつくることが大切だ。

市長 設置が決まればどこまでも誠意をもつてあたり、感情的にもつてくれれば、設置できるものでもできなくなる、不和雷同する大衆の力はこわいものだ。し尿処理については、お互が誠意をもって、一日も早く安心した生活ができるようになつてほしい。

市展審査員決まる

第五回南国市美術展覧会は既報の通り(11月21日、28日、後免野田小学校)行なわれますが、応募作品は次の二十二人の方が審査することになりました。

- 一般作品「写真」山口吉明、浜田豊繁「洋画」彫塑、工芸、版画「筒井広道」日本画「田岡耕作」漫画「川島三郎」書道「松岡雲峰、竹村千穂
- 児童生徒作品「図画」工芸「岡村次、岡敏夫、広地利一、田島厚巳、細川義彰、高野朗、楠目一美、森田栄、川久保光字」習字「川内達喜、弘末忠男、前田孝雄、池添きみ子」写真「川添幸雄、田岡智

これでよいのか、し尿処理

いろいろ問題をかもした香長し尿処理場は、八月の始めから操業することになり、し尿処理のことについては一応終結し、無事平穏な姿になったように見受けられますが、その実困難な問題が投げかけられています。

それは市の中心地や、農村にある消費帯はもとより一部農家においても、便所にあふれるし尿に、なすすべもない状態にあるようです。川や、山への不法投棄もしばしば見掛けられるなど、根本的な処置を望む声が高く、しかもし尿処理場の単独設置の声も次第にきかれるこのごろです。

私たちの望む完全なし尿処理はどのようにあるべきか、話し合いをもつてみました。

出席者

- 池川市長
- 前田保健衛生課長
- 島内正雄(市議)
- 橋本直治(公民館長)
- 藤原平江(主婦)
- 藤原十(主婦)

座談会・これでよいのかし尿処理

税金は納期限までに、必ず納入しましょう。

税金は納期限内に納めないと、納税義務者の方にとっては、督促手数料及び延滞金、延滞加算金、処分費などの余分な負担がかかり、大変損をすることになります。

また、市の行政においても、予算事務に支障をきたすのみならず、滞納整理のため、余分な徴収費を支出しなければならぬことになり、市の財政上損失となりますので、税金は必ず納期限内に指定金融機関（真信連、市内農業協同組

税種別	期別	納期
昭和三十九年度真市民税	第三期	自 昭和三十九年十月三十一日 至 昭和三十九年十一月三十一日
"	第四期	自 昭和三十九年十二月三十一日 至 昭和三十九年一月三十一日
昭和三十九年度固定資産税	第三期	自 昭和三十九年十二月二十五日 至 昭和三十九年一月一日
"	第四期	自 昭和三十九年一月二十八日 至 昭和三十九年二月二十八日

色に納付して下さい。市税の九月以降の納期は、別表のとおりです。お忘れないうよう

なお、四十年年度真市民税第二期

の納期は、八月二日から八月三十一日でした。お忘れの方は、今すぐもよりの農協にお納め下さい。また市の税務課では現在三十九年度以前の滞納税金を整理するため

てその名は天下に聞えた。

衛吉は早くから勤王の志あつく

武市瑞山の勤王運動に参画し、文

久二年十月勤使が関東に下るとき

三条公に従って功あり麻の上下を

いただいた。文久二年十二月帰藩

して土佐勤王の士と交り、瑞山と

の海浜にあり、明治三十一年従四

位が贈られ、その

記念碑は日章小学

校校庭にある。

遺詠に、

思うこと益田池の花あやめ

あやめもわかぬ五月雨の頃

(橋詰延寿著

南園より)

勤王の志 土島村衛吉

(史) 統袍は伊藤俊吉に

(物) 母は津田左金吾に、

(人) 左金吾に、

学問は徳永千則に学び、さらに安政元年江戸に出て剣を千葉一胤(かざたね)にうけ、安政四年には桃井春殿に剣を学び、鏡新明智流の皆伝を受け、各藩を巡歴して諸藩の剣客と試合をし、土佐藩の剣客とし

滞納者宅を訪問し、督促徴収しておりますので、滞納者は完納するようご協力ください。(税務課)

第六回こども会ソフトボール大会

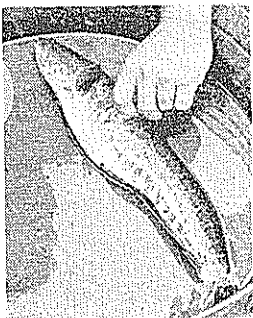
ソフトボール大会

夏休みにおける少年たちの心身ともに健やかな成長を願って、市青少年対策推進本部、少年指導センター、教育委員会等の主催でこども会八月十七日に香長中学校、大篠小学校校庭で、二十四のこども会チームが参加してソフトボール大会が開かれ意義ある大会であった。優勝は旭チーム、二位は曙チーム、三位は日の出チーム

話 題

市内に 草も食う、同族も食ってしまうという雷魚が、先日、前浜で

ある夜、東組の農業、常徳常義さんが明りをつけ、田んぼに出て



ウナギを取っているうちに見付け黒ゴイと思いきや捕えた。池に入れ、観察するうちに「何物ならん」とさわざ始めた。【というのは気味のわるい斑点があつてウロコが大きく、全体がザラザラ。伝え聞いた付近の浜田真潮さんがミミのアンテナを働かした結果、雷魚とわかつたもの。】この魚、中国の産といわれ、日本には支那事変の当時に渡来したと聞く。常徳さんが捕えたところは新田川に近く、川に住んでいたのが田に侵入したらしい。写真

は常徳さんが捕えた雷魚

南国市西部こども会優勝する

県青少年対策推進本部と県社会福祉協議会主催の第二回高知地区こども会ソフトボール大会は、こども達の健全育成と相互の交換を目的として昨年より行われ、香美郡、土佐長岡郡、南国市、高知市吾川郡、高岡郡から各地域から選抜された十二チームが、高知市宮補助グラウンドで開かれたが、本市からの出場は初めてであったがその健斗めざましく西部こども会チームが優勝した。優勝は南国市西部こども会、二位は土佐山田町久次こども会、三位は戸波こども会